

船員のメンタルヘルスアンケート結果中間報告 (抜粋)

一般財団法人海技振興センターの「海技者のメンタルヘルスに関する調査検討専門委員会」において、船員のメンタルヘルスに関するアンケート調査を進めているところ、平成31年2月の中間報告について一部紹介するもの。

アンケートの回収率

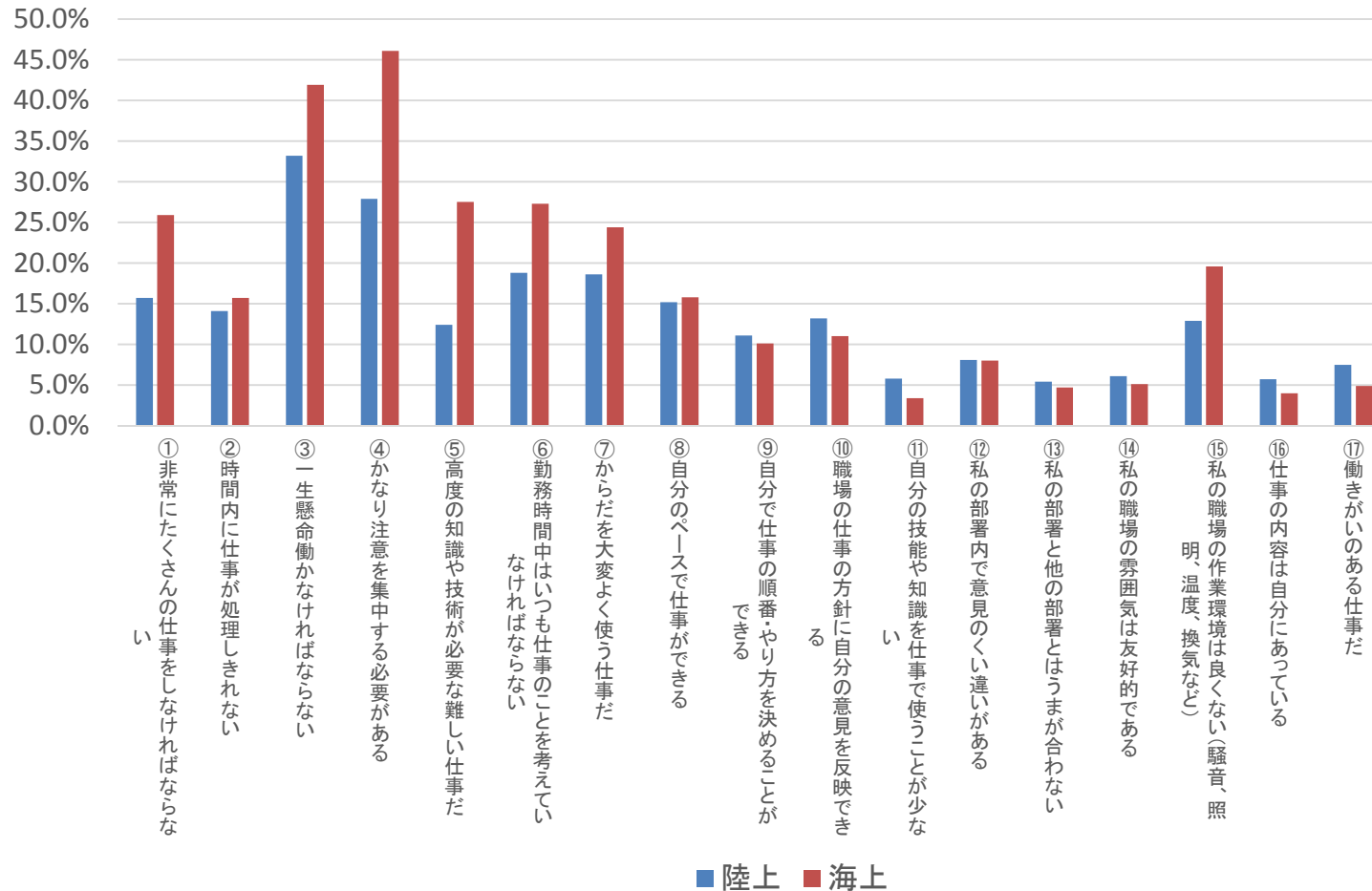
(30年12月末現在)

	全体	外航船員	内航船員	練習船船員
送付数	3,211	1,120	1,691	400
回答数	2,053	522	1,207	324
回収率	63.9%	46.4%	71.3%	81.0%

会社数: 25社

※ 外航船員には、『外航船員と内航船員の両方』と回答した(約70名)も含まれている。

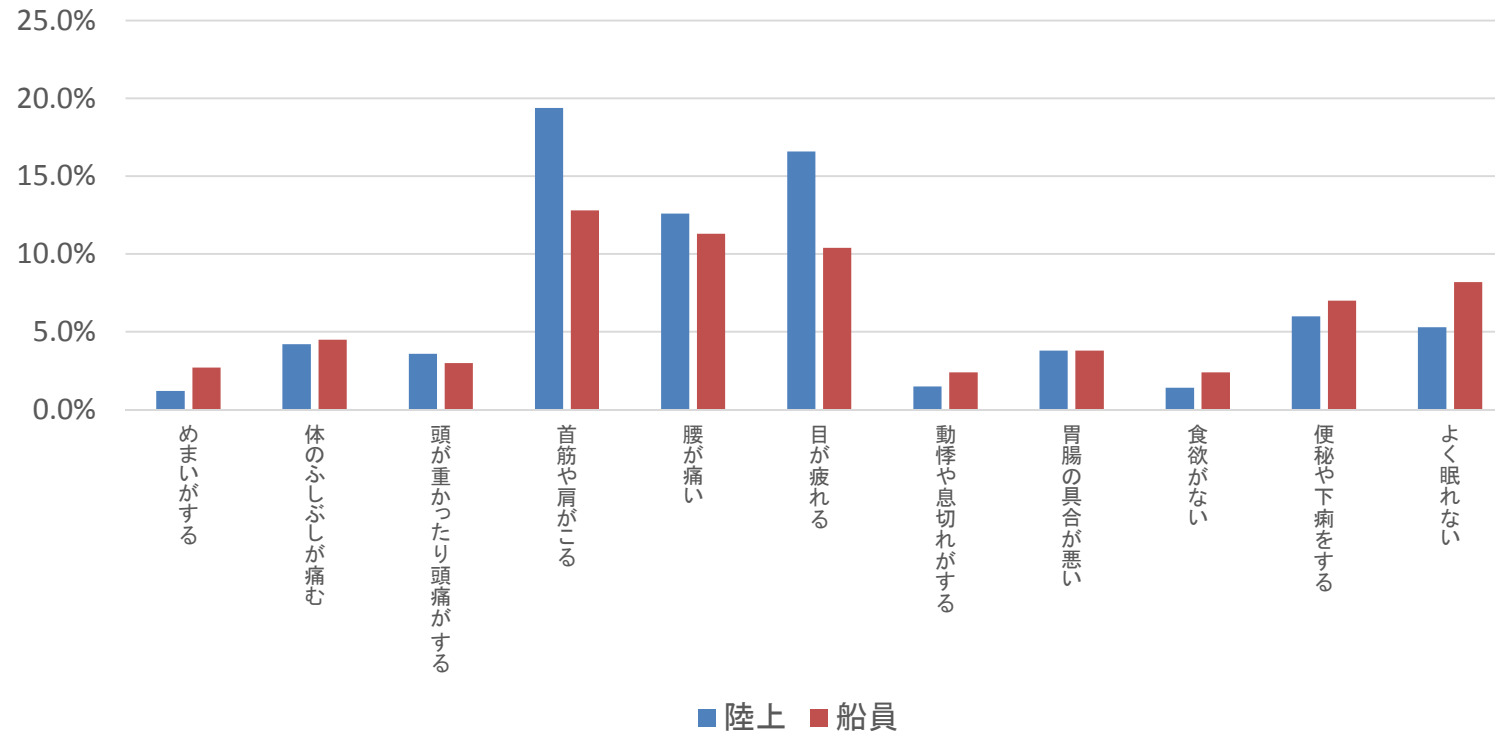
仕事の内容・状態に関する陸上との比較



• 船員の仕事は、陸上に比べ大変な仕事と感じている者の割合が高い。

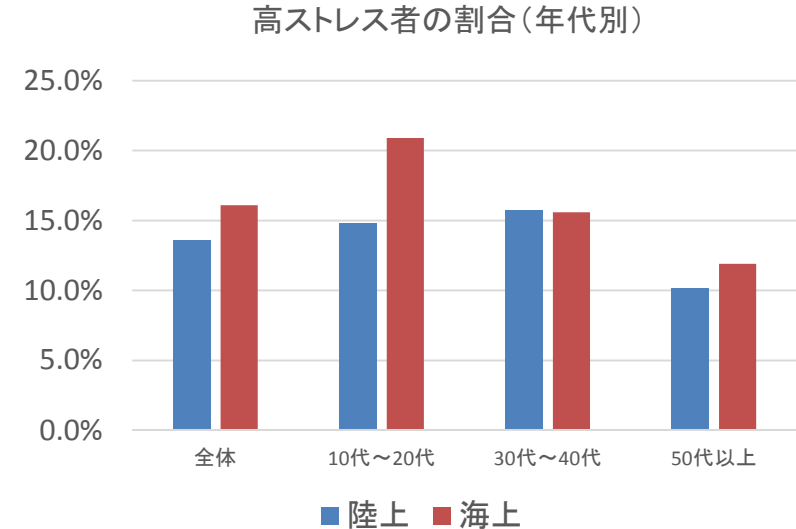
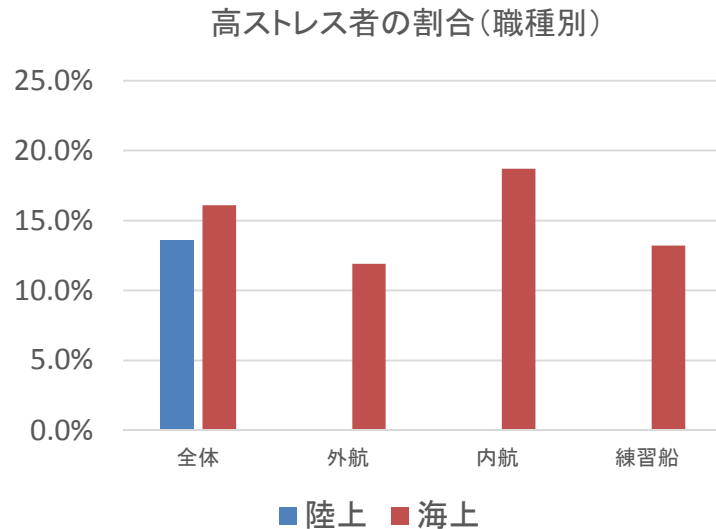
• 船員の作業環境は、陸上に比べ良くないと感じている者の割合が高い。

からだのストレス反応に関する陸上との比較



- 陸上よりもよく眠れない者の割合が高い。

船員における高ストレス者の割合 (職種別と年代別)



- 船員の職種別では、内航船員の高ストレス者の割合が高い。18.7%
- 年齢別では、若年層に高ストレス者(10才台から20才台)の割合が高い。20.9%

高ストレス者に係る陸上の業種との比較

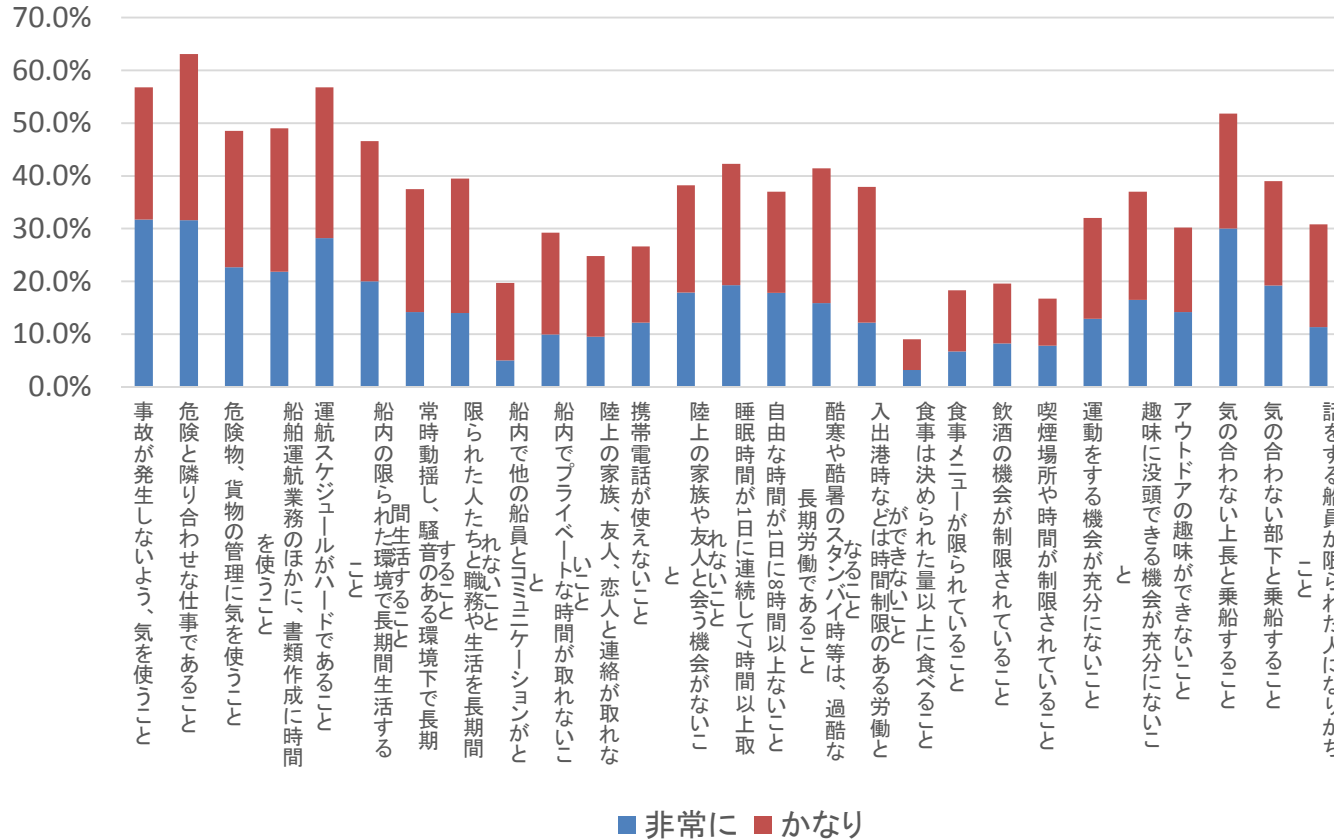
業種	高ストレス者数	受検者数	高ストレス者の割合
船員	331	2053	16.1%
農業、林業	821	5,563	14.8%
漁業	48	525	9.1%
鉱業、採石業、砂利採取業	92	837	11.0%
建設業	4,202	37,104	11.3%
製造業	89,195	534,565	16.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	1,104	10,701	10.3%
情報通信業	3,197	22,909	14.0%
運輸業、郵便業	15,078	116,302	13.0%
卸業、小売業	20,549	150,936	13.6%
金融業、保険業	4,886	46,531	10.5%
不動産業、物品賃貸業	535	5,330	10.0%
学術研究、専門・技術サービス業	1,205	10,226	11.8%
宿泊業、飲食業	3,645	27,405	13.3%
生活関連サービス業、娯楽業	2,005	14,464	13.9%
教育、学習支援業	9,581	90,147	10.6%
医療、福祉	21,193	163,562	13.0%
複合サービス事業	3,662	28,107	13.0%
サービス業（他に分類されないもの）	10,145	76,873	13.2%
公務（他に分類されるものを除く）	20,680	209,341	9.9%
その他	5,181	39,096	13.3%
陸上全業種	217,004	1,590,524	13.6%

陸上データについては、公益社団法人 全国労働衛生団体連合会調べ

海陸の比較では、船員の方が陸上の勤労者より高ストレス者の割合が高い。

船員（全体）16.1% 陸上（全体）13.6%

乗船中のストレス要因



乗船中におけるストレス要因のトップ3は、次のとおり

- 第1位 危険と隣り合わせな仕事であること。
- 第2位 運航スケジュールがハードであること。
事故が発生しないよう、気をつかうこと。
- 第3位 気の合わない上長と乗船すること。

ストレス要因コメント(抜粋)

- ・飲酒の制限
- ・上司のパワハラ
- ・一日の労働時間が長い
- ・書類作成が多い
- ・休暇が充分にとれない
- ・テレビ・インターネット等がタイムリーに利用できない。
- ・衣・職・住・食は陸上の生活環境に比較して劣悪
- ・怪我や病気になっても船上で交代できない